

別紙 1  
報告

## 平成 24 年度 事業計画

## [本年度の目標]

本学会の公益目的事業の円滑な遂行を図るとともに、社会との接点を広げ、学術研究の成果として得られる情報を学会内で学の立場から統合・整理・発展させ、広く社会に発信していく活動を充実させるため、以下の事業を行う。また、東日本大震災の被災地において水産業は基幹産業であり、その復興支援に係る事業は本学会に課せられた重要な公益目的事業と位置づけ、本年度も継続して行うこととする。

## 1. 役員会・組織運営等に関する事項

## (1) 総会

定時社員総会は、定款第 13 条に基づき、平成 24 年 3 月 28 日に開催する。また、必要がある場合には臨時社員総会を開催する。

## (2) 理事会

通常理事会は、定款第 29 条及び理事会運営規程第 2 条 2 項に基づき、7 回開催する。また、理事会運営規程第 2 条 3 項による臨時理事会は随時開催する。

## (3) 支部

## a) 北海道支部

支部総会を年 1 回、支部幹事会を年 1 回開催する（開催日未定）。

## b) 東北支部

支部総会を年 1 回開催する（開催日未定）。支部幹事会、支部連絡幹事会、支部幹事・支部連絡幹事合同会議は必要に応じて随時開催する。

## c) 関東支部

支部幹事会は必要に応じて随時開催する。

## d) 中部支部

支部幹事会を年 1 回開催する（開催日未定）。

## e) 近畿支部

支部幹事会を年 1 回開催する（開催日未定）。

## f) 中国・四国支部

支部幹事会を年 1 回開催する（開催日未定）。

## g) 九州支部

支部総会を年 1 回、支部幹事会を年 3 回開催する（開催日未定）。

## (4) 委員会

## a) 編集委員会

学会誌の編集方針、原稿の書き方、印刷物の体裁、オンライン投稿と編集作業に関する手続き等及び論文賞候補の推薦に係る必要事項を審議するため、年 4 回定期的に開催するほか、必要に応じて随時開催する。

## b) 企画広報委員会

和文誌に掲載する記事の企画を行うほか、和文誌の編集発行、学会ホームページの運営及び新たな事業の企画と広報に関する業務について審議するため、隔月 1 回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

## c) 学会賞選考委員会

学会賞受賞者の推薦に関する事項を審議するため、学会賞授賞規程第 5 条に基づき、年 2 回以上開催する。

## d) シンポジウム企画委員会

シンポジウムとミニシンポジウムの題目、企画責任者、及び記録の水産学シリーズとしての刊行とミニレビューとしての日本水産学会誌掲載について審議するため、年 2 回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

## e) 出版委員会

水産学シリーズの出版企画、水産学シリーズ以外の学術図書の出版企画、出版社との契約事項等を審議するため、年 2 回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

- f) ベルソーブックス委員会  
ベルソーブックスの企画・編集，一般向け図書の企画刊行に関する事項を審議するため，年3回開催するほか，必要に応じて随時開催する。
- g) 水産環境保全委員会  
水産環境の保全に関連する諸事項について審議し，理事会の承認を得て行うシンポジウム，講演会の企画・開催等の関連する業務を行うため，年2回開催するほか，必要に応じて随時開催する。
- h) 漁業懇話会委員会  
懇話会，講演会，研究会等の企画，開催に関する事項を審議するため，年2回開催するほか，必要に応じて随時開催する。
- i) 水産利用懇話会委員会  
懇話会，講演会，研究会等の企画，開催に関する事項を審議するため，年3回開催するほか，必要に応じて随時開催する。
- j) 水産増殖懇話会委員会  
懇話会，講演会，研究会等の企画，開催に関する事項を審議するため，年3回開催するほか，必要に応じて随時開催する。
- k) 国際交流委員会  
国際交流に関する諸事項を審議するため，年2回開催するほか，必要に応じて随時開催する。
- l) 選挙管理委員会  
理事及び監事の候補者，学会賞選考委員の選挙ならびに役員欠員のための選挙に関する審議，業務を行うため，必要に応じて随時開催する。
- m) 水産教育推進委員会  
水産教育にかかわる事項について審議し，理事会の承認を得て行う事業を実施するため，年4回開催する。
- n) 水産技術誌監修委員会  
水産分野の技術者，研究者，事業者等を対象として独立行政法人水産総合研究センターが企画・編集し，定期的に刊行する和文誌「水産技術」について，編集の方針を提示し，編集の監督を行うため，年2回開催するほか，必要に応じて随時開催する。
- o) 水産政策委員会  
会長あるいは理事会の諮問に対応して各種の提言案を作成し，理事会に答申するため，年2回開催するほか，必要に応じて随時開催する。
- p) 男女共同参画推進委員会  
本学会における男女共同参画に関する諸事項を審議し，関連の業務を行うため，年2回開催するほか，必要に応じて随時開催する。

#### [公益目的事業 1]

研究発表会及び学術講演会・シンポジウムの開催ならびに研究業績の表彰による水産学の学術の発展と科学技術の振興を推進するため，以下の事業を行う。

## 2. 研究発表会及び学術講演会等の開催による水産学研究の推進事業（定款第4条1項1号に定める事業）

### (1) 研究発表会

- a) 春季大会：平成24年3月26日(月)～3月30日(金)  
於 東京海洋大学品川キャンパス（東京都港区）  
大会委員長 青木 宙  
研究発表 口頭，ポスター  
シンポジウム 7件，ミニシンポジウム 1件  
平成23年度学会賞受賞者講演13題
- b) 秋季大会：平成24年9月14日(金)～9月17日(月)  
於 水産大学校（山口県下関市）  
大会委員長 山元憲一

研究発表 口頭, ポスター

シンポジウム, ミニシンポジウムの開催

(2) シンポジウム

春季大会開催時(平成 24 年 3 月 26 日, 30 日, 於東京海洋大学品川キャンパス)

- a) 「21 世紀の Smart Fishery を目指して」(共催 漁業懇話会委員会)  
企画責任者: 不破 茂・胡 夫祥・高木 力・山根 猛
- b) 「水産物由来健康機能成分の機能解析と利用技術開発—有効利用と次なる展開—」  
企画責任者: 潮 秀樹・後藤直宏・長阪玲子・細川雅史
- c) 「水産「プロバイオティクス」の創成」  
企画責任者: 杉田治男・吉水 守・澤辺智雄
- d) 「通電加熱による食品の加熱と殺菌技術の高度化」  
企画責任者: 五十部誠一郎・岡崎恵美子・今野久仁彦・福田 裕・舟橋 均・星野 弘・吉岡武也
- e) 「漁業資源の繁殖特性研究—飼育実験とバイオロギングによる新たな展開—」  
企画責任者: 栗田 豊・河邊 玲・松山倫也

秋季大会開催時(平成 24 年 9 月 14 日, 17 日, 於水産大学校)

数件を開催予定

(3) ミニシンポジウム

春季大会開催時(平成 24 年 3 月 26 日, 於東京海洋大学品川キャンパス)

- a) 「水産資源管理に向けた魚類の行動研究」  
企画責任者: 棟方有宗

秋季大会開催時(平成 24 年 9 月 14 日, 17 日, 於水産大学校)

数件を開催予定

(4) 各支部が行う研究発表会及び講演会

- a) 北海道支部
  - ①支部大会の開催(開催日未定)
- b) 東北支部
  - ①支部大会の開催(開催日未定)
  - ②支部例会の開催(開催日未定)
- c) 関東支部
  - ①講演会の開催(開催日未定)
- d) 中部支部
  - ①支部大会の開催(開催日未定)
  - ②平成 24 年度中部支部表彰
- e) 近畿支部
  - ①支部前期例会の開催(開催日未定)
  - ②支部後期例会の開催(研究発表, 平成 24 年 12 月, 於大阪市立大学文化交流センター)
- f) 中国・四国支部
  - ①支部例会の開催(開催日未定)
- g) 九州支部
  - ①支部例会の開催(シンポジウム, 開催日未定)
  - ②支部大会の開催(一般講演, 開催日未定)

(5) 各委員会が行う研究発表会及び講演会

- a) 企画広報委員会
  - ①水産に関する勉強会の開催(開催日未定)
- b) 水産環境保全委員会
  - ①シンポジウム「東京湾の漁業は今?」の開催(平成 24 年 3 月 26 日, 於東京海洋大学品川キャンパス)
  - ②研究会の開催(平成 24 年度日本水産学会秋季大会時)
  - ③沿岸環境関連学会連絡協議会ジョイントシンポジウムの開催(開催日未定)

- c) 漁業懇話会委員会
  - ①第58回講演会「21世紀のSmart Fisheryを目指して」の開催  
(平成24年3月26日, 春季大会シンポジウムの共催)
  - ②第60回講演会の開催(平成24年9月14日, 於水産大学校)
- d) 水産利用懇話会委員会
  - ①平成24年度第1回講演会の開催(平成24年10月, 於東京大学)
  - ②平成24年度第2回講演会の開催(平成25年2月, 於東京大学)
- e) 水産増殖懇話会委員会
  - ①平成24年度第1回水産増殖懇話会講演会「クラゲ研究の新しい展開」の開催(平成24年9月, 於水産大学校)
  - ②平成24年度第2回水産増殖懇話会講演会の開催(平成24年12月～平成25年1月頃の予定)
- f) 国際交流委員会
  - ①第2回日韓水産学会合同シンポジウムの開催(韓国釜山市)
- g) 水産教育推進委員会
  - ①シンポジウム「水産学・農学分野におけるエンジニアリングデザイン教育」の開催(平成24年3月26日, 於東京海洋大学品川キャンパス)
- h) 水産政策委員会
  - ①海洋学会等と連携した科学コミュニケーションに関する勉強会の開催(開催日未定)
- i) その他

### 3. 関連学会等との連携及び協力ならびに社会連携の推進事業(定款第4条1項3号に定める事業)

#### (1) 関連学会等との連絡及び協力

- a) 2012年度春季水産海洋シンポジウム「ミズクラゲ・エチゼンクラゲの大発生：機構の解明から予測・制御・対策に向けて」の共催  
主催 水産海洋学会, 共催 日本海洋学会  
平成24年3月30日, 於東京海洋大学品川キャンパス(東京都港区)
- b) 第49回アイソトープ・放射線研究発表会の共催  
主催 日本アイソトープ協会, 共催 応用物理学会 他61学協会  
平成24年7月9日～11日, 於東京大学 弥生講堂(東京都文京区)
- c) 食品ハイドロコロイドセミナー2012 —初心者のためのハイドロコロイド研究法の解説— への協賛  
主催 食品ハイドロコロイド研究会, 協賛 高分子学会 他26学協会  
平成24年5月24日, 於日本教育会館(東京都千代田区)
- d) 第23回ハイドロコロイドシンポジウムへの協賛  
主催 食品ハイドロコロイド研究会, 協賛 高分子学会 他26学協会  
平成24年5月25日, 於日本教育会館
- e) 国際セミナー「NIAS International Seminar for Cryobiology and Cryotechnology—Proteinaceous Cryo/Anhydroprotectants: From molecular mechanisms to applications—」への協賛  
主催 低温生物工学会, 共催 農業生物資源研究所, 協賛 日本生物工学会 他1団体  
平成24年5月31日, 於つくば国際会議場 エポカル(茨城県つくば市)
- f) 第57回低温生物工学会年会への協賛  
主催 低温生物工学会, 協賛 日本生物工学会 他1団体  
平成24年5月31日・6月1日, 於つくば国際会議場 エポカル
- g) The 9th Asia-Pacific Marine Biotechnology Conference APMBC2012 への協賛  
主催 マリンバイオテクノロジー学会, 協賛 日本植物学会 他20学協会  
平成24年7月13日～16日, 於高知市文化プラザ かるぼーと(高知県高知市)
- h) 第5回エアロ・アクアバイオメカニズム国際シンポジウム(ISABMEC2012)への協賛  
主催 エアロ・アクアバイオメカニズム研究会, 共催 National Taiwan University (NTU), 協賛 日本機械学会 他14団体  
平成24年8月25日～28日, 於ハワード国際交流会館(台湾台北市)

- i) 先進陸水海洋学会日本大会（琵琶湖）の後援  
主催 先進陸水海洋学会，後援 日本陸水学会 他 18 団体  
平成 24 年 7 月 8 日～13 日，於ピアザ淡海 滋賀県立県民交流センター（滋賀県大津市）
- j) その他，関連学会等が主催する講演会等の共催，協賛，後援
- (2) 日本学術会議が行う事業への協力
- (3) 日本農学会が行う事業への協力
- (4) 財団法人農学会が行う事業への協力
  - a) 財団法人農学会技術者教育推進委員会委員を派遣
- (5) 海外との学术交流等
  - a) 第 143 回アメリカ水産学会大会（2012 年 8 月，ミネアポリス）へ代表者及び国際交流委員会委員の派遣
  - b) 第 6 回世界水産学会議（2012 年 5 月，エディンバラ）へ代表者，国際交流委員会委員及び講演者の派遣
  - c) 韓国水産科学会大会への代表者，国際交流委員会委員及び招待講演者の派遣
  - d) 中国水産学会への代表者，国際交流委員会委員及び招待講演者の派遣
  - e) アジア水産学会評議員会への代表者及び国際交流委員会委員の派遣，アジア水産学会大会（日本水産学会創立 85 周年記念大会を兼ねる）の開催に向けての活動
  - f) 世界水産学協議会，FAO，PICES との連携
  - g) JICA，若手会員に対するインターシップ，海外水産関係大会の参加等水産教育プログラムの推進
  - h) その他，文献交換の斡旋，外国人研究者との交流等海外との学术交流に関する事業
- (6) 第 31 回「海とさかな」自由研究・作品コンクールへの協力  
小学生を対象とした，朝日学生新聞社主催の海と魚をテーマとした作品コンクールにおいて，募集ポスターやガイドブックの配付，ガイドブックの監修，朝小・リアルサイエンス「サマースクール」への講師派遣等の協力を行う。
- (7) 東日本大震災災害復興支援活動
  - a) 震災関連データ共有化のためのアーカイブサイトの運営管理を行う。
  - b) 震災復興に向けたアクションプランに基づく活動を行う。
- 4. 研究業績の表彰による学術の発展と科学技術の振興事業（定款第 4 条 1 項 4 号に定める事業）
  - (1) 日本水産学会における賞の授与  
学会賞授賞規程に基づき，以下の賞を授与する。
    - a) 日本水産学会賞
    - b) 日本水産学会功績賞
    - c) 水産学進歩賞
    - d) 水産学奨励賞
    - e) 水産学技術賞
  - (2) 日本水産学会論文賞の授与  
論文賞授賞規程に基づき，日本水産学会論文賞を授与する。
  - (3) 各支部・委員会等における表彰
  - (4) 他の学術関係の賞等に対する候補者の推薦

[公益目的事業 2]

水産学に関する学会誌及び学術図書の発行，及びインターネットによる情報提供を通じて，水産学研究の科学技術成果の普及を行うため，以下の事業を行う。

- 5. 学会誌及び学術図書の刊行による水産学研究の普及事業（定款第 4 条 1 項 2 号に定める事業）
  - (1) 学会誌の発行
    - a) 日本水産学会誌第 78 巻 2 号～第 79 巻 1 号まで計 6 冊 [報文 65 編，総説，企画記事，会告，会報等総ページ約 1,300 ページ（各号 4,300 部発行予定）]
    - b) Fisheries Science 第 78 巻 2 号～第 79 巻 1 号まで計 6 冊 [報文 120 編，総説等総ページ 1,104 ページ（各号 450 部発行予定）]

## (2) 水産学シリーズの刊行

- a) 第 172 号「沿岸漁獲物の高品質化-短期蓄養と流通システム」福田 裕・渡部終五編, 1,000 部発行予定
- b) 第 173 号「有明海: 豊穡の海の水産生物 (仮題)」大嶋雄治編, 1,000 部発行予定
- c) 第 174 号「トラフグの生産技術開発と安全確保 (仮題)」長島裕二編, 1,000部発行予定

## (3) ベルソープックスの刊行

- a) 第 40 号「どんな魚がうまいか (仮称)」坂口守彦著, 2,000 部発行予定
- b) 第 41 号~43 号, (題目未定) 1,500~2,000 部発行予定
- c) その他, 既刊重版 500~1,000 部発行予定

## (4) 水産技術誌の刊行

- a) 第 4 巻 2 号 平成 24 年 3 月 31 日発行予定
- b) 第 5 巻 1 号 平成 24 年 5 月 31 日発行予定